

第8回リサイクルデザインフォーラム —リサイクルは世界—

「リサイクルは世界みんなのキーワード」をテーマに第8回リサイクルデザインフォーラム・日韓合同子ども環境会議が10月20日、はまぎんホールヴィアマーレで開かれました。

「日韓国民交流年」の今年は、^{インチョン}仁川広域市教育庁の事業として仁川市の子どもたちも「環境絵日記」に参加してくれました。代表として来日した^{インチョン}仁川の4人の小学生と横浜の6人の小学生が、リサイクルについて話し合い、交流を深めました。(入場者数515人)



横浜市資源リサイクルデザインフォーラム 第8回 リサイクルデザインフォーラム 日韓合同 子ども環境会議 & 環境絵日記発表会

受け取りたい子どもたちからのメッセージ

韓国と日本の子どもたちの絵日記から、子どもたちのメッセージを次世代に伝えるメッセージとして受け取っていただけたらありがたいと思います。

子どもたちから感じるの「子どもは育てたように育つ」ということです。壇上の子どもの言葉や態度などから、それぞれのご家庭が見えるのではないかと思います。日韓合同の「環境絵日記」をご堪能ください。

横浜市資源リサイクル事業協同組合
中野聡恭理事長



交流を通して相互理解を

2002年は韓国と日本の両国民の相互理解と交流を深くした1年でした。

似たような環境にある横浜と仁川が環境をテーマに交流することは、意味のあることです。今後この交流を通して、相互理解を深くすることができればいいと思っています。

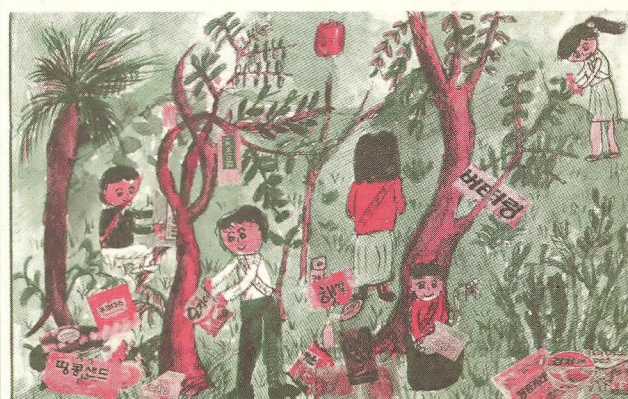


仁川広域市教育庁
パク テオン
朴 泰遠さん

横浜市長賞



東希望が丘小学校5年成田瑛利奈
9月1日 日曜日 天気 はれ
私達の住んでいる地球は年々汚れていると思います。オゾンによる温暖化、自然のほかい、もっともっとあります。身近な所でも行われていると思います。その一つとしてあげられるのは「ホイスデ」です。人間はわがままです。自分に関係のないものは気にしません。だからゴミをポイッと捨てても平気なのです。以前ナイターを見にいった帰りのスタンドはゴミの山です。これも地球をよこすもの一つだと思います。少しでもきれいな地球、いや町にするには、一人一人が自覚し考えていかなければならないと思います。ホイスデをしないことは地球にもいいと思います。ナイターの「ゴミだつて自分のゴミはもちかえろ」ということができていれば、汚れも少ないと思います。シンガポールではホイスデをすると罰金などがとられます。私は罰金ほたらなくていいみんながホイスデをやめて一人一人が身の回りがきれいになるように心がけてほしいと思います。



インドン小学校 4年
イ スンコン
李 昇鍵
自然、ごめんね！
私達家族は日曜日に時々山にのぼります。きれいな空気を吸って登山をすれば一日が楽しいからです。だけど、最近登山客が捨てていったタバコの吸殻、空き缶などあちこち散らばっているゴミをみると不快で気持ち悪いです。それで周辺にある汚いゴミを額に汗が流れるまで一生懸命ひろいました。疲れましたがきれいになった山を見ると気分がよくなりました。
自然、ごめんね！ 自然、ごめんね！
これからでもあなた（山）を大事にします。

ラム・日韓合同子ども環境会議

みんなのキーワード



司会

山本 耕平さん

ダイナックス都市環境研究所

パネラー

徐 智潤 (ソ ジュン) さん
スンハク小学校 2年

徐 智珉 (ソ ジミン) さん
スンハク小学校 5年

李 周熙 (イ ジュヒ) さん
ケフン小学校 1年

李 昇鍵 (イ スンコン) さん
インドン小学校 4年

杉山 都 さん
鶴ヶ峰小学校 4年

成田瑛莉奈さん
東希望が丘小学校5年

内倉 隆誠さん
三ツ沢小学校 3年

唐木田望都さん
三ツ沢小学校 4年

北見 真生さん
金沢小学校 4年

上道 迅 さん
鶴ヶ峰小学校 5年

第一部

日韓合同子ども環境会議

仁川・細かい分別 生ごみは飼料に 横浜・学校で堆肥に

初めに、仁川と横浜の資源回収の様子がビデオで流されました。

山本：ビデオを見てどう思いましたか。

上道：韓国は細かく分けてあって凄かったです。

唐木田：ヤクルトや青いペットボトルも分けてあって驚きました。

ジミン：韓国では残った食べ物は牛や豚の餌にしていますが、日本ではどうですか。

成田：食べ残しは捨てています。

山本：学校で堆肥にしているところがありますか。

内倉：給食のパンは花の肥料にしています。

唐木田：残った牛乳はバケツに入れて花にやっています。

山本：横浜でも残った食べ物を豚の餌にすることは少ししているんだよ。肥料にするだけでは使いきれないので、餌にしようかって、今いろいろな取り組みが進められています。

(月刊リサイクルデザインN092「よこはま白書」参照)

横浜市会議長賞



三ツ沢小学校3年 内倉りゅうせい
7月26日金曜日 天気 ☀
ぼくの家は、水のせつやくと米のとぎ
じるをはい水口にながすとせけんをこわ
すので「むせん米」を食べていました。
でも、学校で花を育てるようになって米
のとぎじるにえいようがあるの、お母
さんにふつうのお米を買ってとねが
いしました。それから、毎日朝と夕方に
とぎじるを花にあげています。
そんなある日、お母さんとテレビを見
ていたら、3月までんでいた広島がう
つりました。それは、リサイクルの名人
でした。なんと米のとぎじるにワックス
こうかがあるのです。ぼくは、それを知
ってさっそく朝の部屋のそうじの時、米
のとぎじるを少しうすめてゆかをそうじ
んがけしてみました。そうそうしてい
い上にゆかはピカピカになりました。本
当にびっくりしました。もっといろんな
ことを知って、しぜんにやさしい生活
をしていきたいなあと思いました。



ケフン小学校 1年
イジュヒ
李 周熙

環境をきれいに保ちましょう。

ママは幼い時小川で魚を捕まえ、洗
濯もして思い切り泳ぎながら遊んだと
いいました。しかし、今は田舎の小川
まで汚染されていて、ママが幼い時に
見た魚は消えて、泳いだ後には皮膚病
にかかるといわれています。それで、
われわれがきれいで住みよい環境を作
るために努力しなければならいので
す。それで子ども達も思い切り遊び自
然環境になればよいと思いました。

横浜・給食の牛乳パックはリサイクルに 仁川・古い教科書は学校に返す

唐木田：僕の学校では牛乳パックを開いて、洗っています。それを学校がリサイクル工場に送ってくれる。

山本：トイレットペーパーの原料になるんだね。そのトイレットペーパーを学校で使っている。

ジミン：素晴らしいと思います。

山本：韓国のお友達は、古い教科書はどうしていますか。

ジミン：4年生の教科書は学校に返しました。

山本：杉山さんは3年生の教科書どうしていますか。

杉山：袋に入れて置いてあります。少ししたら捨てます。

山本：韓国ではできるだけきれいに教科書を使って、学校に返すのだそうです。韓国でも教科書のお金は国が出してくれますが、古い教科書の分は、

新しい教科書を買う費用を学校の活動費として使えるのだそうです。だからできるだけ丁寧に使って、次の学年の子に渡すというとても面白い

仕組みになっています。日本の場合は新しい学年になると、古い教科書はリサイクルに出したり、捨ててしまいますね。

びんよりペットボトルがいい

山本：ペットボトルの飲み物はよく飲みますか。

スンコン：たくさん飲みます。

山本：ペットボトルとびんではどちらがいいですか。

杉山：ペットボトルの方が軽いからいいです。

上道：僕もペットボトルの方が好きです。

山本：みんなそうなのかな。困ったなあ。びんの牛乳と紙パックの牛乳とどっちが好きですか。

成田：紙パックがいいです。びんもリサイクルできるけど、給食で出たとき、落とすと割れるから紙のほうがいい。

唐木田：僕も紙パックがいい。びんだと学校ですぐ、リサイクルできないから。紙は切って、平らにして洗ってすぐリサイクルできる。

山本：紙のほうがいいリサイクルしている実感があるそうですね。韓国のお友達はどうか。

ジュヒ：紙パックのほうがいいです。

山本：びんとペットボトルではどうですか。

スンコン：ペットボトルがいいです。

成田：家ではびんでもいいけど、持ち運びができるのはペットボトル。

山本：これは大人の認識と違うので、ハッとされたのではないかと思います。韓国でも日本でも子どもはペットボトルとか紙パックのほうがいい。びんは重いこと割れること、それにリサイクルしている実感がわからないのでしょう。でも本当は、何度も使えるびんの方がいいんだよ。

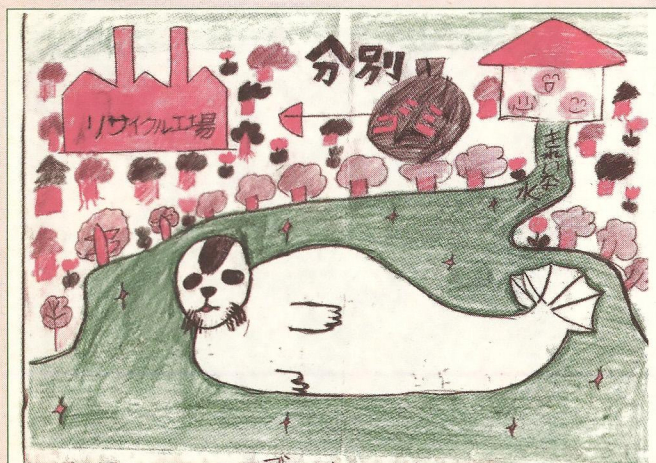


李周熙(イジュヒ)さん(右)
李昇鍵(イスンゴン)さん(左)

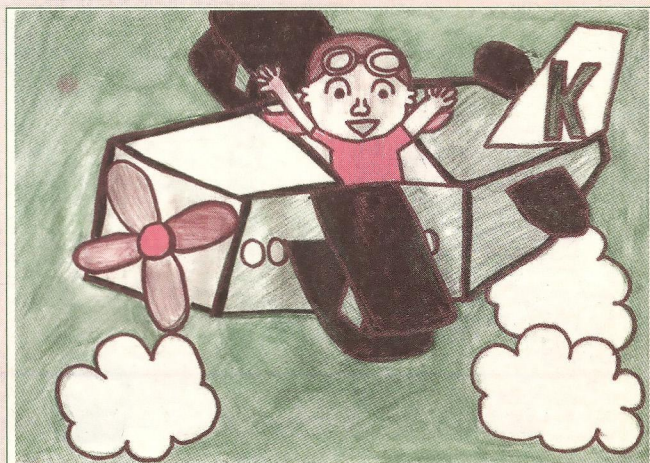


上道 迅さん(左)
成田瑛莉奈さん(右)

横浜市教育委員会賞



横浜市環境事業局長賞



三ツ沢小学校4年 唐木田望都
8月26日 月曜日 天気 晴れ
今日、ぼくの大好きなアゴヒゲアザラシの「タマちゃん」が、鶴見川にあらわれた。多摩川がなくなってしまう心配していたんだ。元気でいたんだ、よかったな。
でも、鶴見川は全国ワースト3のきれいな川だ。病気になるかな。みんなが捨てたゴミやつり糸でケガをしないかな。タマちゃんがなんだかんだんよこれてきたみたいだ。もっときれいな川ならよかったのに。
もっとみんなでリサイクルや環境問題に取り組んで、日本中きれいな川にしたいな。

金沢小学校4年 北見真生
8月20日 火曜日 天気 晴れ
「わが家のリサイクル」
弟の部屋は、電車や飛行機が大好き。でもお店へ行っても「あれ買って」とは言いません。なぜかという...
わが家では、大きなダンボールがある。よくいろいろな工作をするから。まどやドアが開いて中に入れたら。ゆかにはったガムテープの線路の上を走る電車という電車。そして、今弟が一番気に入っているのは、ペットボトルのフロペラをつけた飛行機。食事をしながら、どこをどんなふうに飛ばしたらいいかと話すのも楽しいし、プラスチックのおもちゃはもやもやと空気をよこしてしまふけれど、ダンボールのおもちゃは、廃品回収に出せばまたノートやトイレットペーパーなどにリサイクルができます。
作品に乗っている弟の笑顔は最高でした。

平成14年度

「ごみの減量化・資源化、 ポイ捨て防止 ポスターコンクール」表彰式

毎年、横浜市環境事業局で募集するこのポスターコンクールは、市内の小学校・中学校の児童、生徒を対象に、広くごみの減量化・資源化についての理解と認識を深めていただくことを目的として実施しています。

1978年度（昭和53年度）から続けて行われ、今回で25回目になります。

今回は、216校から1,960点の応募があり、審査の結果、最優秀賞3点、優秀賞7点、佳作25点の合計35点が入賞しました。

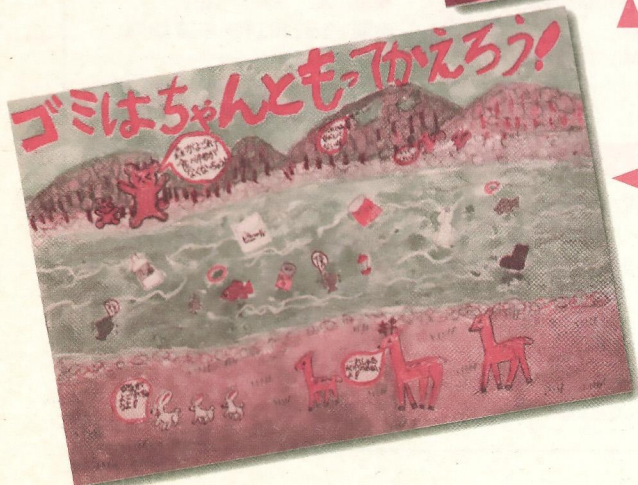
入賞者の表彰式が10月12日（土）の午前11時よりパシフィコ横浜の展示ホールのごみ減量化・資源化啓発イベント「リサイクルフェスタ2002」会場内ステージで行われました。開会式の挨拶の後、画家の西森禎子さんより審査講評があり、続いて中田宏横浜市長より表彰状の授与が行われました。



▲ 小学生高学年の部 最優秀賞
西田勇次さん（市立山下小学校5年）



▲ 中学生の部 最優秀賞
岩本里奈さん（市立潮田中学校1年）



▲ 小学生低学年の部 最優秀賞
真下夏美さん（市立上郷南小学校3年）

最優秀賞には、小学生低学年の部で真下夏美さん（市立上郷南小学校3年）、小学生高学年の部で西田勇次さん（市立山下小学校5年）中学生の部で岩本里奈さん（市立潮田中学校1年）の作品が選ばれました。入賞作品35点はすべてイベント会場内に展示しました。

「リサイクルフェスタよこはま2002」開催!

主催：リサイクルフェスタよこはま実行委員会・横浜市

10月12日(土)、13日(日)の2日間に渡って「リサイクルフェスタよこはま2002」が開催されました。今回のテーマ「来たれ!エコDO場!〜できる事から始めよう!エコアクション100〜」に沿って、会場のパシフィコ横浜展示ホールいっばいに、さまざまな展示ブース(企業・業界団体、市民団体)が設置され、最新の技術の紹介や展示・販売、リサイクルの実演や体験などが行われました。

また、リサイクル工作・工芸教室では使用済のプラスチック容器や発泡スチロールなどを使った、モザイク画教室や塗り絵教室などが開かれ、子どもたちが楽しみながら作っていました。



リサイクル工作・工芸教室



ステレンジャーショー

フリーマーケット(1日100ブース)は市民が、家庭で不要となった衣類・日用品などを販売し、終日にぎわっていました。「エコアクション100」コーナーではマイバック展示、エコ商店街の取り組みPR、資源物と再生品の紹介など10のコーナーが設けられました。ステージイベントも数多く行われましたが、その中でも環境戦隊ステレンジャーショーは、来場者の人気を呼んでいました。

2日間で18,000人の来場者があり、市民のごみ減量化とリサイクルに対する関心の高まりを示していました。

○リサイクル掲示板○

イベント

●瀬谷区 12月8日(日)

瀬谷ふるさと名産展

・フリーマーケット

場所：神奈川県産業会館駐車場
(横浜総合卸センター
卸本町9279-4)

時間：午前10:00～午後3:00

*雨天の場合は同会館2階

問い合わせ

地域活動係

「瀬谷ふるさと名産展事務局」

TEL367-5699

センターリサイクル

●12月1日(日)

・泉区センターリサイクル

環境事業局泉事務所構内

時間：午前9:00～12:00

*雨天実施、車で搬入可

回収品目

新聞、雑誌、段ボール、紙パック、古着、古布、毛布、カーテン、着物、酒びん、ビールびん、アルミ缶、スチール缶、小物金属

問い合わせ

環境事業局泉事務所

TEL 803-5191

●12月7日(土)

・センターリサイクルinせや

瀬谷区 ニツ橋公園

時間：午前9:00～12:00

*雨天中止、車で搬入可

回収品目

新聞紙、雑誌、段ボール、紙パック、古着、古布、毛布

問い合わせ

環境事業局瀬谷事務所

TEL 364-0561

●12月8日(日)

・かながわセンターリサイクル

神奈川区 反町公園

(神奈川区役所側)

時間：午前10:00～午後1:00

*雨天実施

回収品目

新聞、雑誌、段ボール、牛乳パック、古着、古布、白色トレイ、リターナブルびん

問い合わせ

エコライフかながわ

TEL 413-3196

●12月15日(日)

・旭区センターリサイクル

環境事業局旭工場内

時間：午前9:00～12:00

*雨天実施

回収品目

新聞、雑誌、段ボール、紙パック、繊維類、リターナブルびん、アルミ缶、スチール缶

問い合わせ

環境事業局旭事務所

TEL 953-4811

ファイバーリサイクルネットワーク

雨の日も回収するため、ぬれないようにビニール袋に入れてください。ぬいぐるみやふとん類は回収しません。

●青葉区 12/7(土)

洗濯済みのものをビニール袋に入れてお出しください。

出さないもの

冬物衣料、背広、布団類、じゅうたん、ビニール・革製品等

時間：午前10:00～午前12:00

(雨天実施)

回収場所

青葉区総合庁舎第2駐車場
(青葉消防署並び)

問い合わせ

街の美化担当

TEL978-2299

●金沢区 12/7(土)

時間：午前10:00～午前12:00

回収場所

こどもログハウス/富岡西公園/富岡並木地区センター/富岡ふれあいハウス(旧富岡青少年の家)/金沢スポーツセンター/金沢地区センター/西柴町内会館/六浦地区連合会館/釜谷地区センター/六浦地区センター/金沢区役所(病院側)/柳町コミュニティハウス

問い合わせ

地域振興課街の美化担当

TEL 788-7808



右から
唐木田望都さん
杉山都さん
内倉隆誠さん

杉山：生ごみを減らすため、しいたけの軸を炒めて食べたり、ブロッコリーの芯をスープに入れています。

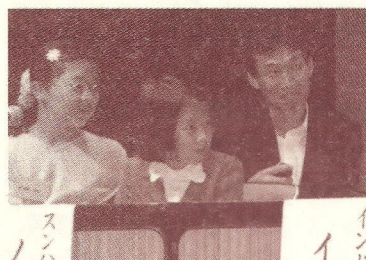
唐木田：僕の家では、スーパーのビニール袋を断って、布のバッグに入れています。

山本：韓国ではごみを減らすため、何かしていますか。

ジュビ：私のお母さんは市場に行く時は、箱を持っています。

通訳：韓国ではスーパーの袋やデパートの紙袋はスーパーやデパートに持って行くとお金を戻してくれます。

山本：なかなかいい制度ですね。実は韓国には日本よりも進んだリサイクルの法律があります。韓国では容器包装等については、あらかじめ処理費、



徐智潤のジュンさん(中)
徐智熙のジミンさん(左)
徐智敏のジミンさん(右)

横浜・ごみを減らす工夫 インチョン 仁川・厳しい預置金制度 よちん

リサイクルをするための費用を国に預けておくんですね。日本では自治体が集めた物をその企業が引き取り、リサイクルをする。その費用は企業が負担するわけですが、自治体が集めなければ、企業はリサイクル費用を負担しなくていいんです。でも韓国の場合は最初にその費用を全部、

いったん国に預けておいて、回収率が悪いとそのお金は返ってこないという制度になっています。預置金制度といいます。企業に対して非常に厳しい責任を問う法律です。(月刊リサイクルデザインN094参照)今、日本もそういう制度を取り入れるべきではないかという議論がされています。

いっしょにリサイクルを頑張りましょう

山本：最後に一人一言ずつお願いします。

内倉：日本でもリサイクルを進めるよう頑張るので韓国も頑張ってください。

杉山：もっとペットボトルをリサイクルしましょう。

唐木田：韓国に負けないようリサイクルを頑張りたいです。

北見：韓国の人から教えてもらったことをもとに、リサイクルを頑張りたいです。

上道：紙を使いすぎないようにしたいです。

成田：もっとリサイクルを進めていきたいです。

ジミン：子孫たちにきれいな環境を残したいです。

ジュン：頑張ってきれいな環境をつくりましょう。

ジュビ：ごみを出さないようにします。



上道 迅さん(右)
北見 真生さん(左)

スンコン：おとうさん、お母さんを手伝って、資源回収をします。

山本：日本と韓国、お互いに学ぶところはたくさんあるように思います。これを機会に交流が深まるといいですね。今日ここで話をしてくれた子どもたちの心の中には、環境問題、リサイクルの問題が素晴らしい思い出として残ることと思います。その思いをお父さん、お母さん、是非はぐくんでやっていただきたいと思います。

横浜資源化協議会賞

リサイクル

鶴ヶ峰小学校5年 上道 迅 8月30日 金曜日 天気 晴 ほとくの自転車は世界で一台しかない自転車です。なぜならおじちゃんのリサイクルセンターで放浪自転車を組直してリフレッシュをする仕事をしていて、ほとくの自転車も作ってくれました。いろんな自転車の部品を使ったこの店にも売ってない世界で一台のリサイクル自転車、おじちゃんがほとくののために作ってくれた自転車です。おじちゃんはおじいちゃん、ほとくの自慢の自転車です。
--

選考委員会特別賞

本町小学校4年 太田 淳平 8月6日 火曜日 天気 はれ ほとくの家では、食事のあとのお皿をあらう前に小さく切った布でふきます。これはかんたんなので、子どもたちがやります。この布は、お兄さんが着て、ほとくが着て、弟が着たTシャツです。きれいにせんたくしたあと、小さく切っておかしの入っていたカンの中にいれています。お皿をあらう前に布でふくと、せんだいも水も少なくてすむので、地球にやさしいことになりました。あらうのも楽です。お母さんはこの布を台所のおそうじにも使っています。 また、ほとくの家には「リサイクルパーバボックス」という箱があつて、うらが白で使える紙を気づいた人がいれます。メモにしたり、絵も書けるので家族みんなが使っています。

第2部

ステージに色鮮やかな絵日記がプロジェクターにより映し出され、その前で子どもたちは、それぞれの日記を発表しました。

表彰式

子どもたちによる作品発表に続いて、表彰式が行なわれました。リサイクルデザイン大賞をはじめ横浜市長賞などの各賞が賞状と副賞の天体望遠鏡や地球儀などとともに贈られました。

リサイクルデザイン大賞と横浜会議長賞は横浜市資源リサイクル事業協同組合理事長 中野聰恭より、横浜市長賞と横浜市環境事業局長賞は横浜市環境事業局減量推進担当部長 吉川義晴氏、横浜市教育委員会賞は環境絵日記選考



環境絵日記発表会

表彰状を受け取る子どもたち

委員代表 財団法人教育文化研究所 丸茂高氏、横浜資源化協議会賞は 横浜資源化協議会会長 三浦信広氏の各プレゼンターより贈られ、環境絵日記選考委員会特別賞は第8回 リサイクルデザインフォーラム実行委員長の栗原清剛より贈られました。

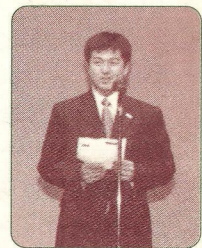
また、韓国の子どもたちへは、中野理事長より、感謝状と副賞として地球儀が贈られました。

閉会のあいさつ

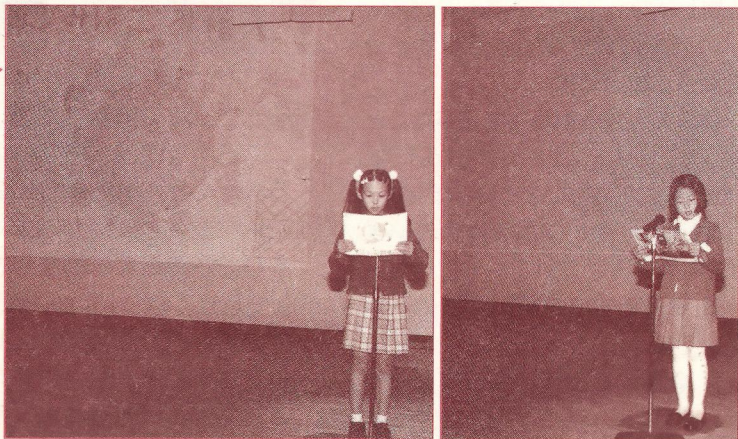
第8回リサイクルデザインフォーラム実行委員長 栗原清剛

子ども環境会議、絵日記の企画は、今年で3回目を迎えました。今年は、2002年日韓国民交流年ということで、日韓共催のワールドカップも開かれ、リサイクルを通して日韓の架け橋になればと、「日韓合同子ども環境会議」を開催しました。ご協力いただいた韓国大使館、仁川広域市教育庁の方々、来日していただいた小学生とご家族のみなさんに深くお礼を申し上げます。

横浜市では、小学生のみなさんから1646作品という過去最多の応募をいただきました。実行委員一同大変うれしく思っています。子どもたちの環境



絵日記を発表する杉山都さん(左)と徐智潤(ソジユン)さん(右)



実行委員特別賞

1

桜台小学校6年 南口純香

私は今年環境美化委員になりました。去年の6年生が取り組んだ「給食の残飯を堆肥にする活動」を引き継いで、全校で取り組むことになりました。先生に教えていただいた方法は、「土壌混合法」というやり方で、残飯を土と交ぜて土に埋めるやり方です。去年作った堆肥は、ジャガイモの栽培で使います。「ジャガイモがたくさん獲れるといいなあ。」とても楽しみです。

2

給食の残飯の堆肥化活動が始まりました。昨日埋めたところを見てみると臭くないし、土の温度が35度にもなっていてびっくりしました。次の日にまた見てみると、土の温度はさらに上がっていて、40度にもなっていました。そして、土には白いカビのようなものがいっぱいありました。先生から「糸状菌」というものだを教えていただきました。

3

毎日の活動は、まず、全部のクラスから残飯が入ったバケツをもった代表の子が集まってくる。水を切った残飯をシートの上に載せて、土と一緒に手で交ぜます。みんな少し気持ち悪そうにやりますが、なれてくると楽しくできます。

4

春に埋めたものは、一週間くらいで堆肥になりました。どんどん堆肥になっていくので、活動も楽しくなってきました。できた堆肥を全校のみんななどのように使おうと相談したいと思っています。家庭や地域にもこの活動をもっと広めたいと思います。

5

私たちの育てたジャガイモがいっぱい取れました。生ごみとして捨ててしまわずに、堆肥になって、私たちの食べ物がこんなによい味になったことが、とてもすばらしいと思います。「生ごみは」「ミミヤ」じゃないんだなあ。」

問題に対する小さな思い、願いが描かれた作品一つひとつふれて、リサイクルを業とするものとして、責任とやりがいを実感しています。

採択された日韓共同宣言は、仁川と横浜の子どもたちの願い、目標は、大人に向けられたメッセージであると思っています。

特にリサイクルに携わる私たち組合員一人ひとりがこの願いを胸にとめて、これからも市民のみなさまと共により良い循環型環境都市横浜をつくるために日々努力していきたいと思ひます。

●総評として、選考委員代表丸茂 高さんより、

「子どもたちが色々な場面での体験を通して感じたことを作品にまとめたものが多くありました。子どもたちがごみの多さに驚いたり、『大人がなぜこういうことをするの』と大人の行動に疑問を感じながらも、自分たちの力で何とか地球を住みやすく、きれいにしようという意気込みを作品から感じとることができました。今後の課題

は、普段の生活の中で大人と子どもと一緒に行動することを通して、環境問題に関心をもち、環境にやさしい生活をしていくこと。扱いやすさや便利さだけではなく、多少の不便があってもリサイクルよりもまずリユースできる生活を模索しなければいけないのではないのでしょうか」とコメントがありました。

第3部

子ども環境会議共同宣言調印式

最後に今回の子ども環境会議で話し合ったことを日韓の共同宣言としてまとめました。ステージでは、各賞を受賞した子どもたち、会場では、子どもたちをはじめたくさんの参加者が見守る中、杉山都さんと徐智潤さんが「ものを大切にしていきて、きれいな地球をつくろう」と宣言し、サインを交わして共同宣言調印式を終了し、子ども環境会議は閉会しました。



共同宣言書

共同宣言調印式

공동선언서 共同宣言書

本日、横浜市資源リサイクル事業協同組合主催、第8回リサイクルデザインフォーラム日韓合同子ども環境会議において、つぎのことを私たちの市議として誓い合いました。みんなで守り行うことを誓います。

선언 공동선언서
我々が 약속을 합니다.

宣言 ものを大切に
きれいな地球をつくろう.

2002年10月20日
日本横浜市

杉山 都	北見 真生
이주희	李 智 媛
서지윤	成田 瑞希奈
上野 迅	内倉 隆誠
橋本 望都	서지민

当日、市立三ツ沢小学校5年3組の児童とともに参加して下さった野間義晴先生より、リサイクルデザインにFAXがとどきました。

今まで子どもたちが、リサイクルについて学習してきたことをフロアから発信しようと、用意をして下さっていたそうです。時間がなくてできなかったのも、後日、送ってくれたのです。また、環境会議の様子をビデオで見た5年3組の子どもたちの感想文も送って下さいました。今号ではご紹介できませんでしたが、次号以降に「教えて、聞かせて」のコーナーで、ご紹介したいと考えています。

また、韓国から参加してくれたソ ジュンちゃんのご家族から、事務局あてに、メールが届きました。ここにご紹介します。

How are you?

I appreciate you and your friend's worm welcome for three days.

My daughters said that Japan is clean and keep in good order and Recycle design grouou do a nice work.

We had a good experience and remembrance in Japan. Thank you.

Yours sincerely

Jeeyoon's family

お元気ですか？ 3日間、あなたとあなたのお友達のあたたかい歓迎に感謝します。

私の娘は、日本はきれいで整然としていた。そしてリサイクルデザイングループは、とてもいい仕事をしていると言っていました。私達は日本でいい経験と思い出ができました。

ありがとうございました。

敬具

ジユンの家族一同



RECYCLE Design

リサイクルデザインのロゴマーク

2つの円形は血管を表しています。右の赤い円形が動脈、左のにじんだ円形が静脈。私たちは、産業全体の中の静脈部分を扱っていますが、静脈の正常化だけでなく、動脈の正常化も同時に目指していきたいと考えます。

●リサイクル標準価格表 2002年10月現在 日経10/31

品名	買入価格 1キロ当たり	業者の売値 1キロ当たり
新聞	*** 0円	4~5円
雑誌	** 0~4円	1円
段ボール	** 0~4円	1.5~2円
衣類くず	** 設定不能	0~1円
アルミ缶	**** 10~15円	

* 集団回収には「買入価格」を適用 ** 有料
*** 有料の場合あり **** スチール缶と選別済の価格
★ 500キロ以上集団回収する団体の適用価格です。
取引条件により多少変化します。
★ 事業所から発生したものは集団回収の対象になりません。
事業所ごとに業者と直接ご相談ください。
★ 集団回収以外の段ボール回収は、1回3000円以上の手数料がかかります。段ボールは必ず束ねて出してください。

編集室から

月刊リサイクルデザインは
次の場所に置いてあります

● マリンスポーツデスク・リップル（鶴見カ
ミン5F）● グリーンバザール（南区六ツ川）
● ブックショップふれあい戸塚店（ダイエー
横）● 大船店● 地酒 篠原屋（港北区篠原）
● エコロジックショップエッセンス（中区麦田
町）● 神奈川銀行瀬谷支店・本牧支店● 安田
火災海上保険横浜支店● 東京ガス環境エネル
ギー館● マルエツ井土ヶ谷店・大倉山店● 相
鉄ローゼン三ツ境店・港南台店・大口店・二
俣川店・緑園都市店・いずみ中央店・山手台
店・白根店食品館・白根店生活館・モザイク
港北店・六ツ川店・釜利谷店・和田町店・左
近山店・瀬谷店・いずみ野店・弥生台店・笹
山店・東寺尾店・富岡店・ひかりが丘店・希
望ヶ丘店・並木店・南まさき原店・中田店・
南瀬谷店・ひなた山店・磯子店・オルト新子
安● マイカル天王町サティ店● ジャスコ駒岡
店・金沢シーサイド店● 自然彩食（名古屋）
● まじょらむ（港北区綱島）● オーガニック
スペースかれん（港北区大倉山）● カフェ杜
（港北区日吉）● きまま舎（緑区霧が丘）●
うどんカフェ（青葉区こどもの国）● 横浜国
際ホテル（西区南幸）● さくら歯科クリニッ
ク（オーケー港北ニュータウン店2F）● リ
サイクルショップ「トロワの森」

10月19日韓国仁川市から子どもバネッ
ー4名を含む総勢14名が成田に到着しま
した。小さな来訪者たちは旅の疲れも緊
張の色も無く、出迎えた私のほうが硬い
表情だった気がします。
1年前、「韓国の子どもたちにも、環
境絵日記を描いてもらえたら、楽しいよ
ね」という一言から始まった今回の取り
組みが形となって、目の前で微笑んでい
る気がしました。
フォーラム当日は、私たちの心配など
よそに、日本と韓国の子どもたちは、ま
るで旧知の間柄のごとく積極的な意見交
換を行っていました。
私たちが次世代と想っている子どもたち
からの、「次の世代にきれいな地球を残
したい」という言葉を受け止め、今後の
リサイクルデザインに生かしていきたいら
うと思いました。
フォーラム当日にご参加くださった皆
さんそれぞれに感想を持たれたと思ひ
ます。ぜひご家庭で話し合ってください
と思います。
次号でリサイクルデザインは100号
を迎えます。記念特集は「リサイクル昔
と今」です。お楽しみに！

FAX 045-316-5122 Eメール mail@recycledesign.or.jp

リサイクルデザインのビデオテープ 「未来を生み出すリサイクル」

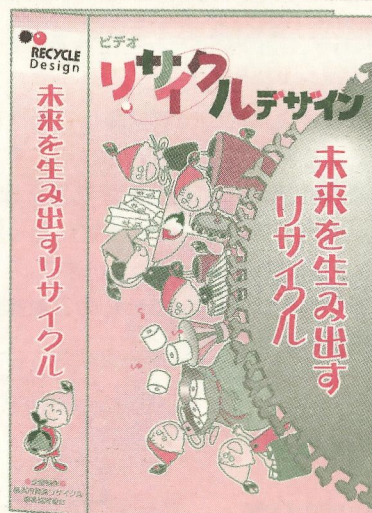
このビデオは、暮らしの中から出る資源物
（古紙・空き缶等）がどのようにリサイクル
されているかを、一人の小学生の目を通して
見ていく様子が描かれています。ぜひリサイ
クルの学習等にご活用ください。

●ビデオテープ貸し出し、ご購入のお問い合
わせは下記まで。

横浜市資源リサイクル事業協同組合

TEL 045-316-4050

FAX 045-316-6050



月刊 リサイクルデザイン No.99

発行日：2002年11月25日

発行人：中野聡恭

編集人：宗村隆寛

編集室：戸川孝則・竹澤留美

発行所：横浜市資源リサイクル事業協同組合

〒220-0005

横浜市西区南幸2丁目16番22号 金属ビル3階

TEL 045-316-4050/FAX 045-316-5122

広報企画委員会：山岡秀明・武松昭男・松澤嘉継

杉山宜利・芦澤博志

制作：(企)エコ・アド

印刷：オリジナルプランニング

月刊リサイクルデザインは新聞古紙100%の再生紙と環境にやさしいSOYINK(大豆インク)を使用しています。

